

久万高原町 議会だより

第4号

2015年
2月



父二峰小学校どんど焼き

主な内容

- | | |
|----------------|--------------------|
| 新年のあいさつ……………2 | 総務文教厚生常任委員会 ……9～11 |
| 平成26年12月定例議会…3 | 産業建設常任委員会 ……12～13 |
| 一般質問 ……………4～8 | 常任委員会視察研修報告…14～15 |

新年のあいさつ



町民の皆様、新年明けましておめでとうございます。念頭にあたり一言ごあいさつ申し上げます。

去年は「税」という文字で表されましたとおり、4月に消費税が3%上がって8%に増税され、年末には2%の増税を2017年4月に先延ばすことの国民の信を問うということで、衆議院を解散し第47回の総選挙が実施されました。

2%の消費税の2017年4月までの先延ばしで、日本の国債のランクが1ランク下がったということを聞きまして、国際社会の中での日本の立つ位置についてなかなか厳しいものがあると感じました。

消費税の増税先送りに伴い、これを原資とする社会保障の充実も一部先送りされ、社会的弱者に対する支援も同様に先送りされることとなりました。平成27年度からの介護保険制度改正に伴い、費用負担のあり方や要支援者に対するサービスの一部が介護予防・日常生活支援総合事業に移行される等、高齢者を取り巻く環境も大きく変わろうとしています。更に、介護報酬の2.27%の引き下げに伴い、介護事業者を取り巻く環境も厳しさを増し、施設等の安定的な経営や介護従事者の確保などが懸念されております。

また、去年は広島県で1時間に100mmを超えるゲリラ豪雨によりまして土砂災害に巻き込まれ、多くの皆さんが被害に遭われ亡くなられました。9月には御嶽山の噴火によりまして、多くの登山者が亡くなっています。

久万高原町に於きまして、近い将来巨大地震などの災害がおきるといわれていますが、県下で一番高齢者の多い町として災害に対する防災・減災に対する取組みを強化する必要があると思います。

昨年4月22日に道の駅「天空の郷 さんさん」がオープンして多くのお客さんが御来駅をされました。町は道の駅を中心とした町づくりを推進していますが、少しでも高齢者や町民の皆さんの生活が良くなることを期待いたしたいと思います。

また、2年前の政権交代によりまして、自民党はアベノミクスの推進により、日本経済が大きく動き出したのはご案内のとおりであります。国は1,000兆円を超える赤字国債を抱え、国際社会の中でGDPの倍の借金は世界で一番多いわけではありますが、どうしても長期的な円安、株高、デフレ脱却の中で、国の再建を目指さなければならないと思います。

また、平成27年度は障害者福祉計画や介護保険事業計画等の作成をしなければならない年です。

国は地方創生の元年と位置付けまして、平成27年度中に久万高原町が将来どのようにして生き抜くのかなど、計画と予算の作成をしなければなりません。我々議会といたしましても町民の皆様のご意見を聞かせていただきながら、この議論に参加を致したいと考えています。

そのほか、多くの問題が山積みしていますが、特に将来を託す子どもたちの教育の問題や永年町や地域や家族のために頑張っていた高齢者の医療福祉の問題につきましても議会として取り組んでまいりたいと思います。

後になりましたが、昨年開催いたしました議会報告会での貴重なご意見ありがとうございました。いただいたご意見を参考にしながら、議会全員で努力したいと思いますので、今年もどうかよろしく願いいたします。

平成26年

12月定例議会

12月8日～12月12日

議案 条例制定 久万高原町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定
久万高原町B & G海洋センター条例の一部を改正する条例の制定
補正予算 平成26年度一般会計補正予算
特別会計補正予算(5事業)
久万高原町土地開発公社の解散について
町道路線の認定について
諮問 人権擁護委員候補者の推薦について(認定と答申)
久万町・面河村・美川村・柳谷村新町建設計画の変更について
発議 「手話言語法(仮称)」の早期制定を求める意見書
報告 決算特別委員会議案審査結果報告(承認)
以上 可決した。

■ 平成26年12月補正後予算額

総 額	153億3239万円	(3億6380万円増)
一般会計	95億4068万円	(3億4342万円増)
特別会計	47億21万円	(2037万円増)
企業会計	13億2781万円	(増減なし)

■ 平成26年12月の主な補正

歳入	地方交付税	9586万円
	国庫支出金	3535万円
	県支出金	6674万円
	諸収入	2325万円(道の駅販売収入を増額)
	町債	1億500万円(災害復旧事業債・合併特例債)
歳出	災害復旧費	1億5095万円
	道の駅運営事業費	2325万円
	障害福祉サービス給付費	1500万円
	消防庁舎敷地造成工事費	4950万円
	直瀬住民センター改修工事	2440万円

一般質問

問 臨時ヘリポート場の整備を問う

答 整備を進めていく必要性がある。

高野町長



上岡正文議員

問

本町における消防防災ヘリコプターの活用については、管内医療機関への搬送等、その連携体制が構築されているところである。

また、防災ヘリ飛行場の離着陸場についても、これまで積極的に整備されてきたところである。

県のこの整備に伴う支援事業は、平成25年度をもって、一旦打ち切り

と聞いているが、本町管内は、極めて広範囲であり、より効果的に運用するには、今後も臨時ヘリポート場整備は必要であると思う。町単独でも、整備を図っていたきたいが、所見を伺いたい。

答

久万高原町は、県内市町最大の面積を有しており、災害発生時には、場所によっては、医療機関まで2時間以上要する緊急救助事業も珍しくない事から、短時間で搬送可能な消防防災ヘリコプターは当町にとっても欠くことのできない搬送手段となっている。

町内各地の学校グラウンド、駐車場を中心に、現在27カ所を離着陸場として、選定している。また24、25年中に県地域医療再生計画基金を活用した事業により、町内6カ所のヘリポートを舗装整備した。

県の支援事業は、平成25年度をもって終了したが、災害発生時の対策として、人員移送や物資搬送の拠点として、ヘリポート場確保は重要であり、地域住民の要望や、また、立地条件等を調査検討しながら、整備を進めていく必要があると考えて

いる。

高野町長



父二峰小学校防災訓練

問

町管内には、地滑りによる危険個所が各所に点在している。ひとたび大きな地震が発生すると、道路寸断等による孤立集落が多く発生する可能性が高い。そうした点からも、施設整備について、十分な対応を願いたい。

消防署において、管内における、こうした設備が必要と思われる箇所等の調査をされた経緯があれば、お聞かせ願いたい。

答

3年前、ヘリポート場整備の時点において、管内の今後必要と思われる、ヘリポートの調査を行っている。集落の人口とか、町立病院等への搬送時間、また、過去にその地域で、どんな事故があったか。それから地区までの距離であるとか、進入路の本数、そうしたものを、調査している。

織川消防長



父二峰小横ヘリポート

問

移住支援施策を問う

答

子供たちが増えるよう努力したい。



川崎勝弘議員

問

わが町は、高齢化率45・1%、人口も減少傾向にあり、町の施策として、定住促進分譲宅地ニュータウン久万高原の分譲販売促進に力を入れている。しかし、各地域へ移住を希望され、土地を購入し、家を建てられた方々への支援施策が適用されにくい現状にある。地域にとっては、移住してこられた方々が、大きな力となり、少子高齢化の久万高原町において、園児・児童の増加にも貢献されている現状だ。移住してこられた皆様は、少しでも支援施策が適用できるようにと思うが、町

のお考えをお伺いしたい。

答

人口減少の問題は、少子高齢化が進行する本町にとって、喫緊の課題である。結婚、出産の祝い金制度から始まり、中学生までの医療費無料化、上浮穴高校への進学助成、農業研修者制度、若者定住促進宅地の分譲、木造住宅建築補助など、さまざまな取り組みを行っている。個人の土地、建物への公的な支援については、公平性、平等性、又昨今の耐震基準等の観点からも、極めて難しいと言わざるを得ない。若者定住促進については、町の重要課題との認識を、皆様と共有をし、今後とも理解をいただきながら、その施策の推進に努めてまいりたい。

高野 町長

問

移住される方の人気ランキング、都道府県において岡山県が1位だそうだ。理由は、自然災害が少ない、温暖な気候、移住施策が充実していることだ。久万高原町も、子供支援対策を、今まで全面的に売ってこられたが、他の市町村も追随して、今では同等になっている。

答

いろんな提案されましたけれども、先だつての講習で、梶原町も熱心に、地域の移住促進をやっておる。空家を、県や国の補助金を50%もらつて、改装し希望があ



地域交流

移住してこられた方々が、長く安心して定住して行けるようにしていくのが我々の役割かと思う。移住してこられた方が友達を連れてきてきているというようなことになりつつある。今後、さらに展開をされていくのか、現状で行くのか、再度確認させていただきたい。

ればそこに住んでもらっている。これから前向きで、福祉の件についてはやりたいと思つている。いろんなことを充実しながら、厳しい問題だと思つたが、具体的に有効な施策があれば、町民の皆様、また議会の意見もうかがいながら、検討してまいりたいと思つている。そういったことも踏まえて、私はこの高齢化、少子化の中で、子供たちが1人でも2人でも3人でも増えるように、努力したいと思つている。

高野 町長



地域交流

問 上黒岩岩陰遺跡の出土品をふるさとへ

答 出土品を一括所蔵できる施設整備等検討したい。

高野町長



高橋末廣議員

問 国指定史跡の上黒岩岩陰遺跡は、久万高原町の誇るべき世界的遺産である。課題である総合な発掘調査報告書の発行や研究成果も発表されており、出土品をふるさとに返される準備が出来ている。

今こそ、保管展示施設の整備、学芸員の採用など条件整備し、出土品をふるさとに返し、歴史的遺産として活用すべきだと思うが町長の所見を伺いたい。

答 上黒岩の岩陰遺跡の出土品をふるさとへと言う事は、今までに2回他の議員からも質問を受けているが、財政状況、学芸員の問題等で前に進んでいない。今回の議会報告会の中で住民から質問が出たことも聞いている。

この上黒岩遺跡は、全国でも非常に貴重な物だと感じているが、多くの資料が久万高原町を含め全国10数カ所に分散している。今年の秋、西予市の県歴史博物館で上黒岩岩陰遺跡の展示会が開催されたように、多くの人に関心を持ってもらうことが重要である。当町としても、今後予想される厳しい財政事情もあり、早々の対策は難しいが、文化行政発展のためには、出土品を一括して所蔵できる施設の整備や、専門員の確保について、多方面の角度から検討したいと思う。

高野 町長

問 当町には美術館、天文館、山岳博物館があり、これに上黒岩遺跡を中心とした歴史博物館を入れれば、久万高原町の教養文化施設が完成されるのではと思うが、現状で

は前向きに進んでいない。再確認で町長の所見を問う。



上黒岩遺跡資料館

答 上黒岩遺跡の資料館がないから、又別の所に保存とか旧美川の庁舎の所にかいろいろな案がある。

学芸員の問題も常駐者を採用することも非常に難しいと思う。今ここで早速に答弁出来ないが、議会も検討頂き、皆さん方幅広く聞き前向きに進めたいと思う。

高野 町長

問 遺跡の発掘当初は7,000人ほどの入館者があり、今でも

1,200人ほどの入館者があり、今

後の計画によつては入館者も増える可能性が有ると思うので、具体的に委員会を設置するなどもう少し、前向きに考えてもらいたい。

答 先ほど申したとおり、いろいろな角度から議員も含めて、委員会を立ち上げてこの問題を進めて行かなければならないと考えている。

高野 町長

問 上黒岩遺跡の件は、過去の質問を含めて今回で、実際は4回目ですので、町長を初め町当局者は真摯に取り組み、一歩でも前進するようお願いする。



上黒岩岩陰遺跡

問

地すべり防止地域の残土捨場の安全対策は十分か

答

愛媛県が定めた基準に適合して許可されている。

高野町長



山之内敏秋議員

問

残土捨場（特定事業）は、県が許可して監督や処分を行うことであるが、住民、町民の安心安全のため

一、町も積局的に調査し公表してはどうか。

二、巨大地震や大雨による災害対策には、土砂などの埋め立て地は十分な対策が、事前に必要ではないか、町長の所見を伺いたい。

答

「愛媛県土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生防止に関する条例」また、特定事業の許可申請あわせて、都市計画法・農地法・森林法・文化財法等の許可も必要となっている。

町内には、4カ所許可されている。許可に際しては、町の意見が聴取され、関係機関と連携を取って調査を行い、全ての情報を公表することは出来ませんが、地元の住民の情報提供を行うことが望ましい。

災害対策は、県の定めた特定事業許可基準で審査が行われている。土壌の汚染及び災害の発生が心配されるところについては、意見書の中で、県に伝えていきたい。

今までも記載しております。調書の中で報告しております。

高野 町長



明神残土捨て場

問

水質保全や、水源地保全の条例制定を検討してはどうか。

答

今のところ検討も、考えてもおりません。

高野 町長

問

全国各地で、残土問題が発生している。今のすばらしい久万高原町の自然を守るために、町民、事業者、議会、町当局が協働して、面河川水系の水質保全や、水源地保全の条例の制定を検討してはどうか。

答

条例化は、非常に難しい。公平さ、どこからどこまで縛るなど難しい問題がある。まだ今のところ検討も考えてもおりません。

高野 町長

問

まちづくり基本条例に基づいて、議会基本条例や、水質と水源地保全条例を共同してつくるべきだと思う。

答

水源関係の条例には、上位法がある。例えば、産業廃棄物の許可などは、国や県の許可があればできる。

久万高原町で独自の条例化は、なかなか難しい。

浮田 課長

答

我が町には、環境問題の専門委員会があります。専門委員会、大きく環境の問題の中で議論を深めてほしい。

永井副町長



仰西渠付近

問

地すべり防止地域の安全確保は

答

安全安心な生活が出来るよう関係機関に働きかける。

高野町長



田村昭子議員

問

近年、想定を超えた異常気象により、集中豪雨による土砂災害や、地震災害が全国各地で起こっている。久万高原町においても例外ではない。

そこで、地すべり防止地域で、土石流危険渓流である菅生地区に「特定事業所」いわゆる土砂処分場が、再度拡大延長許可がおりており、集中豪雨による土石流災害の引き金になりかねない。下流域の住民の生命財産を守り、安全性の確保にする必要があると思うが、どのように考えて

いるか。

答

特定事業場は、県の定めた許可基準の中で、適正に調査が行われているが、近年全国的に雨の降り方が予想を超えるものとなっており、土石流災害がどこで発生するか予測できないと感じており、町としても地域の実情について今後の意見聴取の中で、県に伝えていきたい。

高野町長



残土捨て場処分場看板

問

土石流危険渓流である今戸川上流が、地すべりの倒木により河川がふさがれ、多量の雨が降ると即、土石流災害で、下流の住宅や公共施設が甚大な被害を受ける状態になっている。早急な対応が必要であると感じたが、どのように対応されるか伺いたい。

答

町の対策としては、流水部の立木を伐採し、搬出した上で、通水断面の確保のため、土砂をとることとしている。尚、北村地区から町に話がありました土石流災害に対する不安解消については、十一月末に久万高原土木事務所へ伝え、又、防災施設整備についても要望書を久万高原土木事務所へ提出している。

高野町長

問

今戸川下流には多くの住宅、公共施設、児童公園さらに、ニュータウン久万高原もあり、土石流災害が起きると住民の生命が危険にさらされると思うので、対応が遅れて災害が起るとそれは人災に近しいと思う。

重ねて早い対応をお願いしたい。



菅生地区今戸川上流

総務文教厚生常任委員会

議案第129号 「久万高原町一般会計補正
予算（第6号）」

予算の補正額は、歳入歳出それぞれ、3億4342万6千円が追加され、総額は、95億4068万1千円

上浮穴郡教育義会解散に伴う寄付金など寄付金1273万千円

道の駅収入などの諸収入2651万9千円

歳入の主なもの

地方交付税9586万7千円

災害復旧事業債などの町債1億500万円

歳出の主なもの

公共土木施設災害復旧事業費負担金などの国庫支出金3535万3千円

総務費

社会保障・税番号制度システム整備業務委託料630万8千円

林業用施設災害復旧費補助金など県支出金6674万1千円

消防費

庁舎移転の敷地造成
工事費4950万円



消防移転予定地(野尻)

教育費

子供の成長応援基金
887万1千円

民生費

就労継続支援給付の障害福祉サービス給付費1500万円

美川中学校若竹寮の
改修工事475万円

直瀬住民センターの
雨漏りなどの改修工事
2440万円



直瀬住民センター

進捗状況

総合計画

審議

〈総務課〉

く作成すべきである。

高橋総務課長

早急な取り組みが必要と認識している。

瀧野委員

光ファイバーはいつ頃できて、範囲はどこまでか。

高橋総務課長

対象地域の自治会長

総合計画書について
当町での進捗状況はどうか。

瀧野委員

合併特例期間が終了

瀧野委員

今後5年間で減額されるが、来年度予算時期にあたってどのような予算の取り組みをしているか。

高橋総務課長

総合計画は27年度までの計画となつてい

高橋総務課長

予算の編成方針は、

新町建設計画を策定している中で、その流れ
なければならぬと思っ
ている。

瀧野委員

それぞれの計画もある
ので、出来るだけ早

今後厳しい財源の中で
節減できるものは節減
し、町の活性化に向け
た事業も必要、先般、
職員で予算編成会議を
実施しメリハリをつけ
た予算編成をしている。

高橋総務課長

町が希望してエリア
拡大するのであれば
経費負担は必要になつ

瀧野委員

エリアを広げた場合
の負担はどうか。

織川消防長

災害状況の収集をし
ている段階である。常
備消防だけでは限界が
ある、消防団との連携、
自主防災組織の育成強
化が必要と考えてい
る。訓練を通して防災
意識や備えを充実して
いかなければならぬ

災害時の 対応策

〈消防署〉

てくると思う。

瀧野委員

経験したことの無い
災害を想定した時の対
応・対策はどうか。

瀧野委員

南海・東南海地震が
起きると言われている。
最近全国的にも集
中豪雨やゲリラ豪雨な
どが発生している、防
災に対する総合的な備
えができていくか。

高橋総務課長

対応には苦慮してい
るのが実情である。各
機関が連携して対応し
ていくことが重要であ
ると認識している。

高野町長

防災マップなども作
成して対応している。
個々の認識が必要であ
ると考えている。

体力不足

小中学校

〈教育委員会〉

高橋委員

新聞に、小中学校の
体力調査の結果が出て
いた。体力・学力に対
する対応についての考
えは。

日野教育長

以前先進地の福井県
を視察した。体力と学
力は連動している。校
長会で体力不足の現状
を踏まえ体力向上に向
けた取り組みの指導を
している。



自主防災訓練

高野町長

子供も大人もドアからドアである。体力向上は学校のスポーツ強化である。

上岡委員

若竹寮のエアコン設置状況はどうか。

遠山事務局長

個室11室と学習室に設置している。食堂は設置していない。

上岡委員

防犯上、窓格子の設置状況は。

遠山事務局長

火災等避難の妨げとエアコン設置により設置はしない方向である。



総合体育大会

歳入の主なもの

療養給付費交付金
1271万1千円

歳出の主なもの

退職被保険者等療養
給付費負担金1174
万8千円

広域化

国民健康保険

審議

瀧野委員

国民健康保険事業の広域化の時期と効果について。

議案第131号 「久万高原町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）」

予算の補正額は、歳入歳出それぞれ、施設介護サービス給付費600万円の減

666万6千円が追加され、総額は、17億3526万6千円

歳入の主なもの

介護給付費補正に伴い国庫負担金等
1267万2千円の減

審議

瀧野委員

平成29年に要支援1・2が無くなる。デイサービス事業は成り立たなくなるのではな
いか。小規模多機能施設から大規模多機能施設に変わろうとしているが、介護保険に対する取り組みの変化についてはどう考えるか。

歳出の主なもの

地域密着型介護サービス給付費1000万円

議案第130号 「平成26年度久万高原町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）」

予算の補正額は、歳入歳出それぞれ、億8799万9千円が追加され、総額は、15億8799万9千円

古見住民課長

29年度に市町村国保から都道府県国保に移行することで進めている。広域化で経営が改善される。

重見保健福祉課長

訪問介護、通所介護が地域センター事業である地域支援事業に移行される。費用負担は国、県、町が負担することは今までと変わりはしない。小規模多機能型施設で町民は助かっている。今後についても検討していく。



小規模多機能型居宅介護メサイヤ

瀧野委員

平成29年には要支援1・2はなくなるので

重見保健福祉課長

介護保険制度の中では要支援1・2はなくなるが、支援事業の中に盛り込まれる。

瀧野委員

今の要支援1・2のデイサービスは、他の形で受けられるのか。

重見保健福祉課長

要支援1・2については支援事業での利用を検討していく。

審議した結果、全員一致で「原案のとおり可決すべきもの」と決定した。

産業建設常任委員会

議案第129号 「平成26年度久万高原町一般会計補正予算(第6号)」

予算の補正額は、歳入歳出それぞれ、3億4342万6千円が追加され、総額は、95億4068万1千円

商工費

ふるさと旅行村ケビンの修繕工事625万円

補正予算歳入の概要は、総務文教厚生常任委員長から報告があり省略する。

歳出の主なもの

農林水産業費

道の駅運営事業費 2325万6千円

未登記林道測量委託料730万円

土木費

町道の路面整備作業委託料505万円



ひな祭りイベントに要する元気な商店街応援事業補助金300万円

災害復旧費

林道災害復旧事業費 1億1400万円
公共土木施設災害復旧事業費 3200万円

冬場の

レストラン

審議

〈企画観光課〉

西山委員

道の駅について、12月からの閑散期において臨時職員の雇用体制はどの様に考えているか。

小倉企画観光課長

臨時23名の雇用形態は8時間勤務週休2日制、閑散期は4時間、6時間パートで調整している。



瀧野委員

売り上げと経費はいくらか。

小倉企画観光課長

10月末現在の実績で2億2400万円、計画は1億6060万円、売上は1億8千万円

瀧野委員

運営委員会で冬場の

レストランの経営について、弁当で対応との答弁であった。販売しているのか。

小倉企画観光課長

知事選挙、衆議院選挙の弁当を選管にお願いしたが手配済みであった。新たな事業展開として行っている。

高野町長

冬場の土日は別として、定食のメニューを考えていかなければならない。町内への圧迫がないようにしていきたい。

瀧野委員

町の施設で町民が生活業としていることを妨害している。

高野町長

私にも報告はあった。選挙事務従事者の弁当ということは聞いていたが、これは中止する。道の駅の中の定食方法などを実施していく。

中川委員

まだまだ先か。

高橋建設課長

公営住宅の空きは、久万1戸、美川3戸、柳谷23戸、面河3戸となっている。特公賃全体で24戸、管理住宅は4戸である。久万の特公賃の空き家はない。

需要と供給

公営住宅

瀧野委員
住宅の申し込み、需要と供給のバランスについて

審議

〈建設課〉

中川委員

台風11・12号、台風災害に対する着工率は。

議案第132号 「平成26年度久万高原町簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）」

予算の補正額は、歳入歳出それぞれ、21

歳出

万4千円が追加され総額は、5億8353万

水道施設電気料及び修繕費310万円

7千円

消費税300万円の減

町道由良野線と林道

歳入

消費税300万円の減

歳入

減

東津野城川線の2か所は応急工事対応している。残りはこれからである。

一般会計繰入金21万4千円

〈その他〉

西山委員

町管理施設の維持管理（草刈り）、町職員の労務について。

高野町長

簡易な作業は指示して実施している。

瀧野委員

簡易水道・合併浄化槽・公共下水道・集落排水の4事業について約11億円の事業費である。利用料は3億弱であり、不足分は一般会計からの繰入である。今後の財政悪化によっては、繰出しも限界がある。料金値上げに対するの考えはどうか。

議案第133号 「平成26年度久万高原町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）」

予算の補正額の増減 どれである。

は、4337万9千円

議案第134号 「平成26年度久万高原町浄化槽事業特別会計補正予算（第1号）」

予算の補正額は、歳入歳出それぞれ、50万円が減額され総額は、4337万9千円

前年度繰越金141万4千円

万円が減額され総額は、4337万9千円

万円が減額され総額は、4337万9千円

歳出

浄化槽実施設計委託料100万円の減

一般会計繰入金

191万4千円の減

191万4千円の減

191万4千円の減

191万4千円の減

191万4千円の減

審議した結果、全員一致で「原案のとおり可決すべきもの」と決定した。

浮田環境整備課長

今年度から、公共下水道は公営企業への移行を目指して検討している。起債償還は一般会計から繰り入れている。料金値上げの検討に際しては緩和措置など順次値上げする検討はしていく。

高野町長

人口減などにより利用者が減少する中で会計的に難しい状況である。値上げの認識も必要であるが、出来る限りの努力はしていきたい。

中川委員

協力隊については楽しみであるが、農業公園に配置の女性隊員の採用条件は。

加藤農政課長

今回は大阪会場に会場していただいた女性の方で、農業に関心があり、海外の経験もある方である。農産物加工品や、かかしの里などのイベントでの情報発信などをしていきたい。

中川委員

今後の採用計画は。

高橋総務課長

地域おこし協力隊の総合窓口は総務課である。1名は採用したい。



説明会(大阪)

常任委員会視察研修報告

東日本大震災の傷跡・復旧の現状

岩手県、第3セクターで運営されている三陸鉄道。今回の研修では、釜石駅から盛岡までの南リアス線(延長36.6km)を列車で移動しながら沿線の被災状況の説明をうけ、復旧の現状も実感した。

三陸鉄道については、鉄道敷地が防波堤の役割をして被災からまぬがれたり、避難時間を稼ぐことに貢献した事例もあり、国の全額補助で全線再開がなかった。

瓦れきの処理は終了しても、農地・宅地の復旧はおくれ、いまだに仮設住宅での生活で不便を強いられている住民、仕事もなく帰るに帰れない住民が多数である現状があった。

近い将来おこりうる南海・東南海地震においては、津波の被害こそ想定されてない久万高原町であるが、災害に対する備えを常に意識し、被害を最小限にとどめる努力が必要であると感じた。



列車内での説明



復興現場(手前のダンプカーより津波は高かった)

高地トレイニングを 美川スキー場跡で

長野県、売木村。人口620人の村。陸上競技の高地トレイニングのコースを設定し村内の宿泊施設を利用することで26年延べ2,200人がスポーツ合宿を行った。

地域おこし協力隊制度を利用し、ウルトラマラソンの世界大会にも出場する重見選手を村の臨時職員として雇用して、コース設定、合宿の誘致を担当させている。また村長と共に積極的に、メディア等を利用しての広報活動も展開している。

美川スキー場跡地周辺は、標高的には高地トレイニングに適

していると言える。さらに宿泊施設として、白銀荘は利用でき、施設であり投資費用も少なく済む利点もある。又松山空港からの距離も比較的近く高地トレイニング場として恵まれた環境にあり、人材と宣伝次第ではひとつの有効な手段であると感じた。



売木村での研修

アンケートにお答えください。

議会だより、議会報告会についてのご意見をお寄せいただくために今回、左の葉書を用意しました。チェックして、記入して、切り取って送っていただくだけです。ご協力よろしく願いいたします。

「その他 何でもご意見があれば、記入して下さい」の欄は、裏面16ページにもスペースがありますのでご利用下さい。



議会だよりに
○○なコーナーが
あればなあ～

議会報告会で
あんな事
聞きたいなあ～

議会だより
こうすればもっと
見やすいのに!

アンケートにお答えください。

該当する○に✓でチェックして下さい (例☑男)

1. 性別 ○男 ○女
2. 年齢 ○20以下 ○20代 ○30代 ○40代
○50代 ○60代 ○70以上
3. 住所 ○旧久万町 ○旧面河村
○旧美川村 ○旧柳谷村

4. 「議会だより」について (複数回答可)
○誌面が見にくい ○内容がわかりづらい
○議会活動が伝わりにくい
○必要がない
その他 ()

5. 議員定数について (現在14人)
○現状でよい ○少ない↓ ○多い↓
何人が適当ですか→ () 人
6. その他 何でもご意見があれば、記入して下さい。

裏面のご意見記入欄もご利用して下さい。

議会を傍聴しませんか?!

3月定例会(予定) 3月5日(木) 開会日・一般質問等
3月6日(金) 2日目
3月9日(月) 総務文教厚生常任委員会
3月10日(火) 産業建設常任委員会
3月13日(金) 閉会日

本会議も常任委員会も傍聴できます!

問い合わせ先 久万高原町議会事務局 TEL・FAX0892-21-0134

議会だより・議会報告会についてのご意見ありませんか?

ご意見等の送付先(郵便又はFAX)

久万高原町 議会事務局 宛
住所 久万高原町久万188
FAX 0892-21-0134

※ご意見等には御住所、御氏名を明記してください。

今回は下のハガキを用意しました。
裏面(15P)のアンケートにお答えいただくと
ともにご意見等お寄せ下さい。



おくれればせながら
新年あけましておめ
でとうございます。
また寒さの厳しい
折、どうか体調には
充分お気付かいいた
だいてお過ごしいた
だきますようお願い
申し上げます。
今回、アンケート
葉書で皆様のご意見
をいただきたいと思います

編集 後記

いつきました。たく
さんの方のご意見を
おまちしております。

(中野)



久万高原町議会だより

第4号 平成27年2月19日

発行/久万高原町議会
愛媛県上浮穴郡久万高原町久万188
発行責任者/町議会議長 瀧野 志
編集/議会広報特別委員会
TEL0892(21)0134 FAX0892(21)0134
印刷/明星印刷工業株式会社

キリトリ線

Post card

料金受取人払郵便

松山南局
承認

81

差出有効期限
平成27年3月
31日まで
(切手を貼らずに
ご投函ください)

791-1190

久万高原町久万188
久万高原町議会事務局内
久万高原町議会会報
特別委員会 宛

キリトリ線

ご意見記入欄

